

全国一般纳税人协

全國一般勞動組合全國協議會

編集発行人 遠 藤 一 郎

東京都港区新橋 3-21-7 松本ビル

TEL 0 3 - 3 4 3 4 - 1 2 3 6

FAX 03-3433-0334

九六春闘が山場を越え、中小労働者の生活は向上したといえるだろうか？ 大手組合、連合が二月には早々と解決し、幾ばくかの昨年を上回る回答を引き出したとはいえるが、多くは中小・下請け労働者の犠牲と引き替えのアップであり、また、企業内リストラ合理化のさらなる受け入れによる人員削減との交換でしかない。連合が久しく春闘終焉に向けて画策し、或いは、年俸

制など財界の「新日本の経営」への理解と受け入れを示すことによる報償にすぎない。反して財界・資本の押し進める国際競争力の強化＝日本経済の構造転換の下で企業の存立さえ危うくさせられ、規制緩和によって小規模小売業は瀕死の状態の中にあり私たち中小・零細企業に働く労働者は生活と健康の破壊が進んでいく。こうした私たちにとってきわめて厳しい状況の中

で全国協は職場、地域の中
で様々な身分の労働者との
連帯共闘を力に「連帯春闘」
として設定し、大幅賃上げ
と時間短縮の闘いを作り出
してきた。しかし私たちの
春闘は、財界一連合の賃金
抑制攻撃の前に現状は残念
でした。

地域の行動と全国協初めての 中央行動の成功

宮城、北九州の争議を中心として地域と共闘を強めた闘い、外国人組合員の闘い、或いは各職場で数次にわたるストライキ、そして三・二一を中心した全国統一行動と中央行動の成功を作り出してきた。

九六連帶春闘は全国一般
全国協議会結成以降初めて
中央行動を設定して、労働

春闘の中での闘つた沖縄闘争

課題の闘いを強めよう!

り強い闘い、東京、大阪、宮城、北九州の争議を中心として地域と共闘を強めた闘い、外国人組員の闘い、或いは各職場で数次にわたるストライキ、そして三・二一を中心した全国統一行動と中央行動の成功を作り出してきた。

私たちの春闘は金属一般、嘉飯山の仲間をはじめとした経営困難懇意の中での粘

地域の行動
中央行動の

らす・中小・零細企業を脅かし労働者の生活と健康を破壊しようとする規制緩和との闘いを今後一層強めていかなければならない。

九六連帶春闢はかてなく社会的政治的課題を担う
闘いでもあつた。沖縄県民

資本・連合によつて春闘を労働者・国民生活向上の機会として意味あるものとはならず、合理化を受け入れるセレモニーにさせられている。私たちはあらためて連帯春闘を強固に建設していこう。

質を遂げる政府・労働省に
対する労働者の怒りを突き
つけることに成功した。労
働分野の規制緩和にとどま

省包団の闘いを組織した。
権利春闘の仲間とともにひ
たすら資本の労務省へと変

い。この區々の手の動き
と全国協初めての
成功

ははきていたい。今なお未
解決組合が多くある。最後
まで賃金抑制攻撃を跳ね返
して連帯春闘に勝利するま
で闘へ続けよければよ。

ながら昨年実績を上回る貢
上げ・時短を獲得すること

全國一般全國協議會 中央執行委員會

の米軍基地撤去の願いは反戦地主会の闘いと一つになり、ついに政府をして米軍用地不法占拠の状態へと追いつみ日本を攻撃するに達

全国各地の闘い 96春闘・メーデー・争議

3. 21

春闘中央闘争

東京権利春闘の仲間と労働省包囲デモ

三月二一日、全国協は、各地の統一スト、争議支援行動とともに、労働省包囲行動に参加した。包囲行動には、東京南部を中心に神

奈川地連、自立労連も参加。前段では東京南部で解雇争議を闘う福岡さんを支援し、全国協と南部全労協の仲間に二百五十名が三好印刷包囲

デモを行った。労働省前では、東京けんり春闘の仲間に二千名が労働法の規制緩和反対の申し入れ、抗議行動、包囲デモを行い、最後の全国協総括集会では、本日を全国協の中央闘争として闘い、また、九六春闘を最後まで闘うことと確認し解散した。

宮城発

争議の最中、四年目の自動車パレード

宮城合同労組自動車教習所部会

四月二一日、宮城合同労組自動車教習所部会が主体となって、第四回自動車パレードが約七〇台の車両が参加し行われた。車両には「長時間低賃金労働打破！」

「教習所を地域の安全ドライバー育成のセンターへ！」など、思い思いのスローガンが張り付けられ、仙台の街行く人々に約三時間アピールが行われた。

▲ 思い思いのステッカーで自動車パレード

春闘中であり、また、黒井支部と赤門支部で激しい争議が闘い抜かれている最中ではあるが、自動車教習所部会は「このようないそ地域に向かうべき」と確信し、今年もパレードを行ったのだ。自教部会が地域的な影響力を拡大すればするほど、弾圧もまた強化されている。昨年「警察官僚の学校への天下り支配反対」のスローガンを掲げてパレードを行ったことが、目下の組合に対する攻撃の背景となっている。なかまのみなさん、めげずに初心を貫いてがんばります。

4月19日、徳島県酒卸協同組合において、中小春闘支援連帶集会が六支部、二単産約五十名が参加し、開催された。

冒頭、全国協遠藤書記長より、「規制緩和と九十六春闘をいかに闘うか」の講演を受けた。

大手企業が三月決着の中、中小は、回答は低額、未解決がほとんどという状況下、春闘方式は終焉し、中小は組織率の低さ、大手との賃金格差是正など、取り組むべき課題は多く、厳しい闘いを強いられている。また、規制緩和攻撃は、賃金破壊、雇用破壊をもたらし、大資本の利害のみで、労働者に

春闘は、大幅賃上げと同時に、規制緩和攻撃をはね返す闘いに取り組んでゆこう。そのような講演を受けて、各支部・単産からの報告お行つた。酒卸の仲間よりのマスコミの流す「規制緩和」の欺瞞性がよくわかった、今後の闘いへつなげてゆきたい、という声に代表されるように規制緩和攻撃への取組は不十分で、今春闘を出発点として闘ってゆきたい。

低額回答を許さない、大幅賃上げ獲得に向け、九六春闘はこれからだ。規制緩和攻撃をはね返そうと、確認し、集会を成功裡に終えた。

徳島発

4.19 中小春闘支援連帶集会開催！ これから闘いのはじまりとして

全国一般全国協 第5回中央委員会

開催日時	96年6月8日(土) 午後1時～4時
場所	東京・品川中小企業センター
議題	1. 96春闘総括 2. 夏期闘争方針 3. 反戦平和闘争について 4. 第6回定期大会開催要項 5. 今後の中央委員会開催方法の変更 6. その他

徳島 森住丸善書店の企業閉鎖・全員解雇反対！

商法改正に名を借りた組合つぶしの
企業閉鎖・全員解雇攻撃を許すな！

長野發

(株)住建解雇事件全面勝利判決 支援共闘会議も結成 長野一般労働組合

(株)住建を相手どつて解雇撤回を求めて闘っていた。

長野一般松本ユニオンの伊藤武さんの「雇用関係存在等確認請求事件」で長野地裁松本支部(松丸伸一郎裁判長)は、三月二九日、原告である伊藤武さんの訴えを全面的に認める判決を下した。

この解雇事件は、一九九

三年八月、会社が株主総会で伊藤武さんを取締役に選

任しなかつただけでなく、解雇し労働契約も打ち切ったことが問われたもの。判決では、取締役といつても具体的な職務内容や会社内での地位、権限等によっては、実質的に労働者としての性格を有しているとしてこの場合を「取締役兼任従業員」と呼び、解雇無効の認定をした。

これに対しても、会社は四月十一日不當にも東京高裁

区労組会議や県労組会議では、五月十六日、解雇撤回の闘いを強化するため「株主解雇撤回闘争支援共闘会議」を結成した。

東京発 なんぶ・東京外語で報復解雇！ これ以上の蛮行は許されない！

東京外語の五名の解雇争

議は、昨年十一月裁判所で和解解決した。しかし、東京外語経営にとってその和解は、新設する福祉専門学校の認可のための欺瞞だった。新設校の認可・指定が厚生省から出たとたん、今度はリチャード・ダカティ委員長をはじめとする組合

組合員(五名)を解雇した。経営難を理由とする経営に対する、組合が雇用確保のための賃下げ・ワーケンシェアリング提案を行っていたにもかかわらずである。この解雇攻撃は、まさに、組合つぶしであり、東京外語経営の昨年の争議敗北に対する「報復」である。当該組合は「团结に敵はない」の

職したばかりの中川幸美さんを含む八名(内、外国人)を含む八名(内、外国人)

パート労働者の賃金差別に歯止め判決 賃金八割以下は違法

長野自動車部品メーカーのパート労働者28名

三月十五日長野地裁上田支部で、自動車部品メーカー「丸子警報器」に働くパ

ト労働者の「臨時従業員と正社員の賃金格差違法、損害賠償訴訟」に対し「パート労働者の賃金が同じ勤続年数の正規従業員の賃金の八割以下となるときは違法」という判決が出された。

景気変動による合理化のために臨時従業員制度を認めたり、同一労働同一賃金の原則を年功序列や生活給制度の存在を理由に適用困難としたり、賃償額の算出根拠に不十分さがあつたり、多くの問題点を含む判決はあるが、同一労働同一賃金の原則を「人格の価値を平等とみる市民法の普遍的原理」とし、「この均等理念を越えた賃金格差は使用者の裁量を越えたものとして違反となることがある」と判断を聞いたことは、臨時、パート労働者の賃金格差是正の闘いの重要な足がかりとなる。

今年はパート労働法見直しの年にあたっている。「必要なとき必要なだけ、しかも出来る限り安く」という使い捨てを許さない具体的な闘いを、長野の仲間に続き全国で起こしていく。

◆第67回日比谷メーデー 韓国から「希望の歌コッタジ」が参加 二万二千名がデモ行進



▲ 「希望の歌コッタジ」日比谷メーデー

デーは、二万一千名が参加から九州まで各地のメーデーに取り組んだ。闘うメーデーの旗印を守り、各地の争議団や外国人労働者、各国の労働運動も参加した。他方、連合メーデーでは、戦争政策や住専公金導入を目指す橋本首相が挨拶し、お祭り色がますます強まった。全労協を中心とした日比谷メーデーは、二万一千名が参加した。主催者挨拶は反戦反基地、護憲、労働法の規制緩和。住専公金導入反対、国労闘争勝利を提起し、連帯挨拶色がますます強まった。全労協を中心とした日比谷メーデーは、二万一千名が参加した。主催者挨拶は反戦反基地、護憲、労働法の規制緩和。住専公金導入反対、国労闘争勝利を提起し、連帯挨拶の有鉄憲共闘議長は沖縄の島ぐるみ闘争の報告、基地はアメリカへ、安保に風穴を開ける闘いを訴えた。国労闘争団や争議団の決意表明、そして韓国の労働運動とともに闘う「コッタジ」の歌声の中でデモ隊が出発し都内にシユプレヒコールがこだま

